

ますます、いよし。



令和6年度 第1回伊予市部活動の地域移行に関する検討会議

- 1 開会挨拶(座長)
- 2 協議 (進行:副座長)
 - (1) 昨年度までの取組状況
 - (2) 今年度の事業計画
 - ア 方針案・計画案意見公募結果
 - イ 市推進計画の策定
 - ウ 拠点校方式の部活動
 - エ 外部指導者の活用
 - オ イベント型の体験会
 - カ 保護者・教職員・地域への周知
 - (3) 次年度以降の計画
 - ア 外部団体との連携
 - イ 生徒の移動手段
 - ウ ゴールイメージについて
- 3 その他
- 4 閉会挨拶(副座長)

令和6年5月31日(金)

19:00 ~ 21:00 市庁舎 3階 庁議室

2 協 議

(1) 昨年度までの取組状況

- 検討会議の開催
 - ・令和4年度に2回、令和5年度に3回の検討会議を開催

- 先進地視察
 - ・東かがわ市の地域クラブ活動「東かがわクラブ」の視察

- 県実証事業により外部指導者導入
 - ・港南クラブとして、港南中学校野球部に大学生指導者を派遣(5回)
 - ・バレーも計画したが、指導者が感染症罹患により未実施で終了

- 方針・計画の策定について
 - ・単独でチームが作れる部活動、合同チーム、拠点校(令和7年度～)を検討する。
 - ・併せて子供のニーズや地域人材を活用できる方法、移動手段、実施場所も検討。
 - ・令和6年度に各校1種目程度、実証事業を実施したい。
 - ・協力団体(高校・大学・企業等)の模索
 - ・方針案・計画案について本年4月に意見公募(パブリックコメント)実施。

- その他
 - ・市ホームページに「部活動の地域移行」のページを作成し、検討会議の議事録掲載
 - ・砥部町・松前町と進捗について情報共有の場設定(今後、継続的に開催予定)
 - ・市広報紙への情報掲載予定
 - ・県人材バンクの活用検討、市人材バンクの作成検討

(2) 今年度の事業計画

ア 方針案・計画案意見公募結果	市民から意見なし
イ 市推進計画の策定	年度内に策定予定
ウ 拠点校方式の部活動	実証実験の実施 各中学校への聞き取り実施 令和7年度開始に向け詳細検討
エ 外部指導者の活用	各中学校に説明、推薦書受付
オ イベント型の体験会	伊予農業高等学校や近隣町と協議 10月27日(日)しおさい公園(P5)
カ 保護者・教職員・地域への周知	市内小中学校全教職員向けの説明会実施 (1回目5月8日・15日・16日、次回対面予定) アンケート結果(P6) 保護者向け説明会の実施

(3) 次年度以降の計画

ア 外部団体との連携	(案)ライフル・ビーチスポーツ(バレー・テニス・サッカー他) ・ボッチャ・モルック・河原学園… 地域移行のパターン(P7)
イ 生徒の移動手段	(案)デマンドタクシー等を活用した輸送について
ウ ゴールイメージについて	<u>受入団体が決まり、学校から部活動という名称が消えた時</u>

3 その他

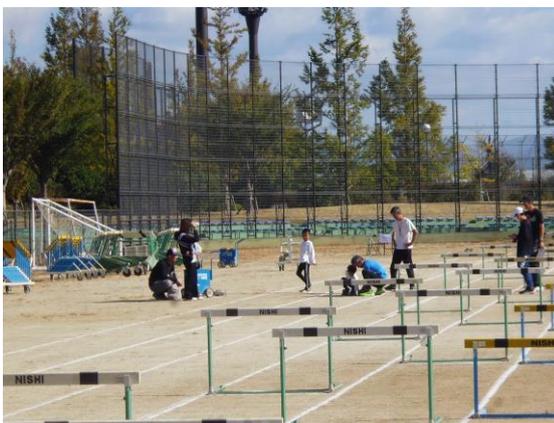
・今年度の検討会議の予定

- ・第2回 7月23日(火)(予定)
- ・第3回 10月22日(火)(予定)
- ・第4回 2月18日(火)(予定)

スポーツ体験会 10月27日(日) 開催予定

- ・主に小中学生対象とし、様々なスポーツを体験することができる。
- ・スポーツ協会の競技種目団体や他団体のスポーツクラブ、プロスポーツにも協力依頼予定
- ・外部指導員の発掘や各種団体との連携が期待できる。

<昨年のスポーツ体験会の様子> ※昨年初開催で、この時は、小学生対象



教職員向け説明会での参加者アンケート(2024年5月8・15・16日開催)

- ソフトテニス部に地域の外部指導者が2名来て来ています。自身の仕事もある中、時間を割いて熱心に指導をしてくれていますので、できる限り早く指導料等の確保をしていただきたいと思います。
- 部活動の地域移行が進み、生徒が自分のしたいことをできる環境が整う日が近づいてきていると感じました。
- 部活移行の現在の状況等がよくわかりました。職員を代表してお礼を申し上げます。
- 昨年度より形が見えてきたと思います。総体や新人戦が今まで通りだと、拠点校の保護者は他校生がレギュラーになってほしくないという心理が働くので保護者への啓発の必要があると思いました。
- 部活動地域移行が実際に実現すれば、小規模校や部員減少でチーム編成できない学校にとってもプラスである。合同チームや今年度から採用された拠点校方式によってもチャンスがいただけたので、とてもありがたいです。伊予市がひとつになって、今後も子どもたちのために進化し続けることを願っています。
- 部活動の地域移行に関しては、教員だけでなく生徒や保護者も気にしている内容だと思います。合同チームや拠点校方式での部活が始まっている中、自分のしている部活はなぜ選ばれないのだと感じている生徒がいるのも現状だと思います。すべての生徒が思うように部活動に打ち込めるよう、環境が整備されてほしいなと強く感じました。
- 本当に地域移行できるのかが、大切であると思います。
- 地域全体で子どもたちを見守る必要があると感じました。
- 実際に指導者等の地域の受け皿が確保できるのか、疑問に思いました。
- 教員の働き方改革、生徒数減少による部活動の制限などの課題を解決する策として地域移行していくのは良いと思います。中学生が放課後の時間を有意義に過ごせると良いと思います。
- 地域に移行していくのは良い事ですが、練習時間の確保や保護者の送り迎え等難しい問題も色々あると思います。
- 拠点校教職員へのご支援をお願いします。
- ある程度の期間を設けて地域移行を計画している事は、無理がなく良いと感じました。部活動は中学校の事ですが、小学校で働く者も棚卸は知っておかなくてはいけないと思います。その点で小学校も対象とした研修で良かったです。
- 教員の負担を削減することになり良いと思いました。また、外部からの人材を採用するということで生徒もより多様な人材に触れる機会が多くなるとともに、専門的な技術等も学ぶことができ、さらに生徒の興味関心にそった活動を行うことができると感じました。
- 幅広い部活動ではなく、子どもたちの選択肢が狭くなるのかな？という懸念はあります。教員の働き方改革から考えたとき、地域の一員として指導に関われれば今の現状とあまり変わらないのかな？と思いました。
- 小規模校が多いので、単独では部活動が十分にできないので、バスを出すなどして港南中学校で集まって活動するとかはできないのでしょうか？
- 伊予市として、どのように進んでいくのか。全く分かりません。具体的に、明確に示さないと働き方改革が進んでいくという実感はありません。絵に描いた餅では、ダメだと感じます。どうお考えですか。
- 中学校の部活動の指導を先生方がされるのは本当に大変なことだと思っておりましたので、まんべんなく先生方の負担軽減になるように期待します。
- 今後の展望、伊予市の方向性、教員としてこれからどういうスタンスで部活動に従事していくのがいいのかが、うまく伝わってなかったような気がして残念でした。今後の課題だと思います。
- 校長先生からも説明がありました。
- 小学校教員としても対応できることは行わないといけないと思いました。
- 今後の地域移行に向けて、具体的で分かりやすかったです。
- 金銭的な補償無しでは指導者も協力しにくいので、指導者の生活が成り立つようにしていく事が移行に向けて必要だと思いました。
- 生徒の思いや願いを最優先に進めていきたいです。
- なかなか難しい問題が多いと思いますが、お世話になります。こうして、部活動についても考えていただけていることが、まず有り難いなと感じています。ありがとうございます。

地域移行パターン

